

# 第36回 芝樋ノ爪及び芝4・5丁目地区まちづくり協議会 議事要旨

## (1) 日時

令和2年10月28日(水) 午前10時5分～11時25分

## (2) 場所

芝神戸町会会館

## (3) 出欠者(会員数19名)

- ・会員：13名(欠席者6名)
- ・事務局：川口市6名、(株)首都圏総合計画研究所2名

## (4) 議事次第

- 1) 開会
- 2) 防災マップについて
- 3) その他
- 4) 閉会

### 【配布資料】

- ・次第
- ・会則、会員名簿
- ・資料1：防災マップ(案)
- ・第35回協議会議事要旨



▲意見交換の様子



▲意見交換の様子

(5) 議事概要 (○：質問・意見、→：回答)

1) 開会

市より開会の挨拶。

協議会員について、4名の加入及び、4名の退会を報告。

役員の改選について、会則第6条に基づく各町会長の互選により、会長・副会長の任命がされる。

2) 防災マップづくりについて

事務局より防災マップづくりについて説明。

【防災マップづくりについて意見交換】

- ：芝中田町会では、16本の消火器を所有している。町会の消火器を全て掲載すると、情報量が多くなるだろう。マップに掲載する必要があるかどうか意見をいただきたい。
- ：避難に必要な備蓄品として毛布を挙げているが、高齢者が一人で運ぶのは大変ではないか。
- ：避難所では、全ての避難者に物資を配ることは保証できないので、余力のある方に持参していただきたいという主旨である。
- ：持参することが可能な方は持ってきてほしいという意味合いだろう。
- ：避難所へ必ず持参する必要があると思いつく人もいないのではないか。
- ：市販の防災バッグに含まれている小さい毛布など、運びやすいものもある。避難所の収容人数と備蓄品が限られているため、自助努力を促したい。いただいた指摘を踏まえ、防災マップに分かりやすく記載する。
- ：皆で避難所を運営していくという基本的な考え方が伝わると良い。
- ：昨年の台風19号は、これまでにない初めての経験だったので、備蓄品等を用意できなかった人は多いのではないか。
- ：昨年の台風19号の際は、避難所に行けば、何でも用意してもらえると勘違いしている避難者がいた。お客様気分で行かないように、地域に周知したい。
- ：消火器について、町会設置分は除いていることを記載した方が良いのではないか。
- ：まずは、防災マップに町会設置分も掲載するかご検討いただき、掲載しない場合は、いただいた指摘のとおり記載する。
- ：町会設置分も掲載すると、避難路が見えにくくなる。
- ：市設置分のみが良いのではないか。また、備蓄品について、可能な方は持参してほしいと付け加えると良い。
- ：昨年発行した、まちづくりニュース28号において、備蓄品の考え方が記載されているので、防災マップにも同じように記載する。
- ：備蓄品の考え方は、市の防災本にも記載されている。貴重品についても必要な備蓄品として掲載してはどうか。また、町会区域について、各区域の色が区域境で重なってしまい見えづらくなっているため、修正してほしい。また、防災倉庫や公衆電話を掲載するのはどうか。震災時には携帯電話が通じなくなることがあるので、公衆電話の場所は分かるとうまいだろう。
- ：防災倉庫は、町会の一部の方が主に利用するものであるため、防災マップに掲載しない方が良いと考えている。
- ：なるべく自助に役立つマップになってほしい。昨年の台風19号の際に、高台に位置することから芝中学校に多くの避難者が集まった。芝中学校も防災マップに掲載した方が良いのではない

か。

- ：小さくても良いから掲載した方が良い。
- ：コロナ禍において、各避難所はソーシャルディスタンスを確保した避難所運営が求められている。
- ：芝中学校も掲載した方が良い。コロナ禍における避難所運営について、各学校でも運営方法を検討している。芝樋ノ爪町会では、学校から避難所運営マニュアルをいただいて検討している。また、消火器は市設置分のみ掲載すれば良いと思う。
- ：コロナ禍における避難所運営について、ソーシャルディスタンスを確保するために、体育館のみでは限界があるので、教室を上手く活用しながら避難者を受け入れるように、検討を進めているようだ。
- ：防災マップについて、あまり情報が多いと、必要な時に役に立たないので、各学校の情報等は掲載する必要はない。防災マップ右側に掲載されている避難のフローは良いと思う。
- ：避難のフローについて、一次避難場所は、一とき避難広場が危険な場合に避難する場所ではないのか。市の計画と記載が異なると誤解を招く可能性があるため、正確に記載してほしい。
- ：近年、高層マンションが増えてきているが、民間マンションへの避難は、一つの方法として考えられるので、民間マンションに対して、避難できるよう交渉することはできないか。
- ：近所に9階建ての分譲マンションがあるが、避難先としての機能はない。まちづくり協議会で、民間マンションへの避難を検討することは難しいのではないか。
- ：一時的な避難先として、例えば共用部の通路を借りることはできないか。
- ：マンションの入口がオートロックである等、セキュリティ上の問題があることと、マンションの住民から賛同を得る必要があるので、難しいのではないか。
- ：市では、垂直避難に関してどのように考えているか。
- ：防災マップを作成する場に防災課もいた方が良いのではないか。なるべく市の計画に合わせた方が良いのではないか。
- ：防災マップの作成にあたっては、昨年の台風の経験を踏まえ、避難所の場所を把握していない方が多数いたことから、避難に関する基本的な考え方を周知することを目的としている。
- ：掲載する情報量が多くなると、見づらいマップになってしまう。基本的な情報のみを掲載し、詳細の情報は、各町会で周知する努力をできると良い。
- ：詳細の情報を把握したい場合は、市の防災本等を確認していただく必要がある。
- ：各町会で推奨する避難所があるのではないか。
- ：基本的にはどこに避難しても良い。まちづくりニュースは定期的に発行するので、例えば、次々号において、垂直避難の考え方について周知することも可能である。まずは、避難所の場所など、最低限の情報だけでも早めに周知することが大切であると考えている。
- ：公衆電話は停電時に有効である。数も少ないと思うので、防災マップに掲載してほしい。
- ：ここまで出た意見を整理する。
  - ①避難所に持参する備蓄品に関するテキストは、まちづくりニュース 28号のように、もう少し丁寧に記載する。
  - ②避難所生活におけるマナーについて、まちづくりニュース 28号を参考に追記する。
  - ③消火器は、市設置分のみを掲載する。町会設置分は掲載しない。
  - ④各町会の区域線について、境の色が重ならないように表示する。
  - ⑤防災マップの欄外に、芝中学校なども避難所として利用できることを追記する。
  - ⑥避難フローについて、どのような状況の場合は、「一とき避難広場」から「一次避難場所」へ

避難することになるかを追記する。

⑦公衆電話を掲載するか検討する。

⑧「垂直避難」に関する情報提供は、まちづくりニュース 30 号に載せるなど次々号以降のニュースを活用する。

⑨周知方法について、まちづくりニュースとして発行し、協議会区域に配布するが、協議会の区域外は各町会で周知方法を検討する。

○：公衆電話について、把握できるものだけでも掲載してはどうか。

○：西地区防災マップでは、コンビニエンスストアの敷地内に設置されているものを中心に掲載されている。屋外にあるものだけでも掲載するのはどうか。

→：事業者に問い合わせて、屋外にあるものなど、把握できる限りで掲載する。

○：協議会の区域外への周知方法について、町会の補助金等を活用して、町会で印刷して配布することを検討している。

○：防災マップの印刷版を追加でいただくことは可能か。

→：印刷費がかかるため難しい。防災マップのデータを提供することは可能なので、各町会で印刷等していただきたい。

→：本日の意見を踏まえ、防災マップを修正する。修正版は役員である 3 町会長へ確認していただきたい。まちづくりニュースは、年内または年明けに発行したい。

○：防災マップの修正版について、会員も確認したい。

→：会員にも修正版を送付し、期限を設けて意見をいただくことにする。

◎防災マップの作成については以下のとおりとする。

- ・防災マップを修正し、役員（3 町会長）に確認してもらう。
- ・その後、会員へ郵送配布し、再修正等がないか意見を募る。
- ・その後、協議会ニュースとして配布する。
- ・協議会区域外への配布については、各町会で検討する（自費印刷など）。
- ・適宜、防災マップのデータを 3 町会長へ提供する。

### 3) その他

市より道路整備の進捗が報告された。

今年度の協議会は、早急に議論する議案がないことと、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に配慮し、本日をもって終了する。次年度の開催は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を考慮し、開催時期を検討する。

### 4) 閉会

以上